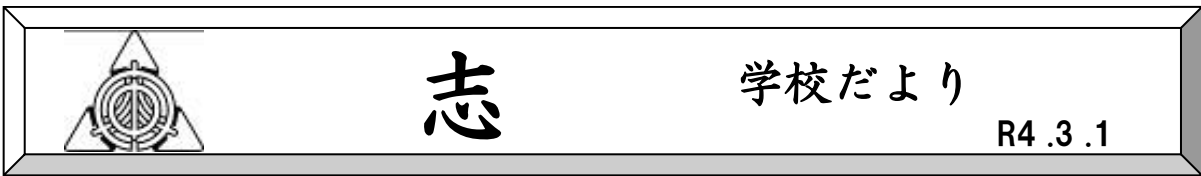


## 教育目標 「 知性豊かに 心さわやか たくましく生きる 」



四日市市立内部中学校 第 40 号

### 卒業を間近に

早いもので3月になりました。来週月曜日が卒業式ですので、3年生の生徒たちが内部中学校で過ごすのも、残りあと僅かとなりました。コロナウイルス感染症のまん延防止措置が取られているため、なかなか思うように教育活動が進められない日々ですが、生徒たちの明るい笑顔が救いです。

各教科の授業も一つひとつ最後を迎え、先生の思いが詰まった話で終わる教科もあれば、いつものように淡々と終わるものもあります。しかし、義務教育最後の授業が終わることは確かです。毎日当たり前のように行われている授業ですが、9年間で約9,000時間となります。

時には、「何のために勉強するのだろうか」「何で授業があるのだろうか」と思ったこともあるかもしれませんが、それぞれの教科における知識や技能を習得し、思考力、判断力、表現力を身に付け、主体的にそして他者と協働して問題解決する力を身に付けるなど、社会の中で活躍し、豊かな人生をおくることができるようにするために、仲間たちや先生方と共に学んできました。

ここで『教育基本法』第1章の第2条(教育の目標)第1項に書かれていることを紹介します。「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、**健やかな身体を養うこと**」とあります。3年生のみなさんはどれくらい達成できたでしょうか。全部達成できていなくても大丈夫です。なぜなら『学び』は、まだまだこれから続きます。もちろん、高校や大学へ進学して『学ぶ』こともその一つですし、社会に出てからも多くの『学び』があります。『学び』は一生続くのです。「生きていくこと」は、「学び続けること」なのです。

とは言うものの、『授業』において『学ぶ』機会は、人生の中でそれほど多くはありません。ですから、高校等へ進学してからも、是非『授業』を大切にしてください。1・2年生のみなさんは、明日の『授業』から大切にできると良いです。



すでに大切にできている人は、『教育基本法』の「目標」に示されている内容について考えながら『授業』に取り組んでください。ちなみに、『授業』は、受けるものではなく、主体的に取り組み、仲間や先生と一緒に作り上げるものだと思います。

## 3年生による奉仕作業

2月22日(火)の午後に、3年生のみなさんが、校内のあちらこちらで、清掃や土砂の撤去等の奉仕作業を行ってくれました。

何よりも嬉しかったことは、どの生徒もそれらの作業に意欲的に取り組んでくれたことです。今年の3年生は、毎日の清掃にも熱心に取り組んでくれていて、いつも感心していますが、この日は長時間にもかかわらず、ひたむきに取り組んでくれました。



これまでお世話になった校舎等を、感謝の気持ちを込めてきれいにしようとする姿が多く見られました。自分たちが使用している教室はもちろん、トイレや階段、廊下などを隅々まできれいにしました。油引きも協力して、手際よく行っていました。自分の分担が終わった後も、何か他に手伝えることはないかと自ら探して時間いっぱいまで頑張る姿がたくさん見られました。



また、グラウンドの側溝に詰まった土砂の撤去も今回の奉仕作業の内容でしたが、土砂の量が多く、作業面積も広大で一番の難作業となりました。時間内にすべて撤去できなかったため、いったん帰り学活を終え、グラウンド担当の人だけであと少しの時間だけ作業を続けましたが、担当外の多くの人が「残って手伝っていいですか」と参加してくれ、予定していた区域の土砂の撤去をすべて終えることができました。学年みんなが心をつににした、本当に素晴らしい活動でした。

## 避難訓練

2月24日(木)の6限目に避難訓練を行いました。今回は「Jアラートの警報」が鳴った時を想定したものでした。あつてはならないことですが、近隣諸国から日本に向けて飛翔体が発射された際に、この「警報」が鳴ることになります。各担任から説明を受けた後、アラート音を聞くと、生徒たちは、爆風によってモノが飛んできたり、ガラスが割れたりという想定の下、



窓から離れ、頭部を守る行動をとりました。実際の警報発令時には、校内、校外に関わらず、落ち着いて適切な行動をとることが求められます。その際には、このような訓練はもちろんのこと、これまで学んできたことを生かして、自分や他者の生命を守る行動をとることが重要です。